

SEAIR 参加報告

South Eastern Asia Association for Institutional Research Conference 2016

- 2016 年 9 月 21-23 日
- タイ・バンコク Suan Dusit University
- 参加者 100 名前後

会議形式と概要

- 学術的な学会・会議とおなじ。論文を投稿し、査読によって選別、20 分ほどの発表。
- 発表件数は全部で
- 査読による採択率約 50%
- フィリピンの参加者および発表者が最も多い。
- タイは、アジアでも最も古い IR 先進国。

興味深かった発表

成均館大学（韓国）の高准教授の調査。

- 高准教授（教育学）は IR 研究の専門家、米国とアジアの IR の動向に詳しい。
- 韓国の大学における国際化。
- 外国人教員の大量登用。
- 地方と都市部における外国人教員の質の格差（教育研究ともに、ソウル都市部<地方）。

来年度以降

- 来年はシンガポールで開催されるが、そのあとは中国（main land）と台湾が予定されている。
- 米国の AIR も含め、中国と台湾の台頭が著しい。
- 欧米における大学経営の動向に加え、アジアにおける状況もフォローアップする必要がある。

2016 と過去の国別発表状況

Country/region	2013	2014	2015	2016	Total
Australia		1	1		2
Dominica		1			1
Finland			1		1
France	1				1
Indonesia	10	1	4	1	16
South Korea				1	1
Lao	1				1
Lebanon	2	2			4
Malaysia	9	1	6	8	24
Mali	1				1
Netherlands		1			1

Philippines	13	11	12	31	67
Saudi Arabia				1	1
Singapore	2	1	4	1	8
Taiwan				4	4
Thailand	7	5	10	14	36
United Kingdom	1		1	1	3
Total	47	24	39	62	172